

# 認知症疾患医療センター通信

## 高齢者の方々と心理的にかかわり

今回は臨床心理士より高齢者の方々と心理的にかかわりについてお届けします！

当院認知症疾患医療センターでは、認知症の鑑別診断を行うためにさまざまな検査を実施しており、その中には心理士が行う“認知機能”を調べるための検査もふくまれています。認知機能の低下と聞くと、「最近ものおぼえが悪くなってきて…」など【記憶力の低下】をイメージする方が多いと思いますが、【認知機能の低下】とひとくくりに言っても、そこには多種多様なはたらきが含まれています。

たとえば、ものごとを理解する力・状況を正しく判断する力・ものごとを順序だてて行う力など様々です。これらが損なわれてくると、たとえば「時間や場所の見当がつかない」「大事なものをどこに置いたか分からない」「段取りのある作業ができない」など、日常生活の中で普通に行っていたことがちょっとずつできなくなり困ってしまいます。センターには、こういった生活上の困りごとを抱える高齢者の方々やそのご家族が多く訪れており、心理士は、実際の困りごとと検査結果をすり合わせ、その方が生き生きと生活するために必要なサポートは何かを考えながら関わっています。

鑑別診断以外に、当院シニアデイケアワルツ(60歳以上)での回想法プログラムも関わりの一つです。「回想法」は、過去の懐かしい出来事やものに触れ思い出を語り合うことで、脳が活性化され、心を元気にする効果があると言われていています。昔なつかしい昭和歌謡に耳を傾けながら、テーマに合った思い出話を参加者の方々と繰り広げています。今までの参加者からは「懐かしい気持ちになった」「たくさん話せて楽しかった」などの感想がきかれ、話している表情は心なしか少年・少女時代にもどったような無邪気さや、青年期の精悍さのようなものが表れているような気がして、こちらの心もほっこりします。



### ☆認知症疾患医療センター☆これからの予定☆

平成31年 1月22日 第7回 市民研修会 「地域で考える認知症の予防と気づき」  
2月6日 平成30年度第1回認知症疾患医療・介護連携協議会  
2月27日 かかりつけ医認知症研修(第2回)

今後とも、ご協力の程、お願い申し上げます。

北多摩北部保健医療圏 薫風会山田病院 認知症疾患医療センター